

令和4年度 丹波市立南小学校
第2回 学校運営協議会(記録)

- 1 日時 令和4年10月6日(木) 19:30~21:15
- 2 場所 南小学校ミーティングルーム(体育館2階)
- 3 内容

進行：松本 地域学校協働活動推進員

(1) あいさつ(打田 学校運営協議会会長)

(2) 報告事項

ア 令和4年度南小学校学校評価(前期)について(石田主幹教諭)

学校評価(前期)アンケート(児童・保護者)結果より説明(別紙)

(意見・感想)

- 家庭学習とゲーム・テレビ・スマホの決まりとの関係で、親としては、ゲームばかりしているとの思いから、家庭学習が十分できていないと思っているのではないか。
- 自分のことが好きで自尊感情が伸びているのはいいこと。集団生活を行っていく学校としてこの伸びは良い傾向だと思う。
- タブレット活用が学習意欲に効果が出ているようだが、どのような活用をしているのか。
 - 全児童にタブレットを配付している。
 - コロナなどでやむを得ず休む子に、オンラインでクラスの学習に参加し、不安感を取り除くことができている。
 - その他の活用として、外国語の学習では翻訳を使いこなせる。調べ学習では普段使いが定着。インターネットで検索するなどした資料を作成し発表。自分にあった課題をインターネット上で選択し主体的に学びを深める。
- タブレットによる学習も大事。一方で、夏休みの補習のとき、新出漢字を国語辞典などで一つひとつ整理している子がいて感心した。デジタルとアナログの併用が子どもの学びには大切だと思う。
- ゲーム、テレビ、スマホ等の決まりを守っていないと多くの親が回答しているが、買ったのは親である。

ゲームなどの時間が家庭学習の時間を減らすという問題よりも、もっと大切な時間が奪われているように思う。家庭での会話が減っているのでは。人とふれあい、話し合う時間が奪われていることのほうが問題だと思う。
- できないことをできるようにすることも大事だが、得意な子と好きなことが十分できているか。好きなこと、やりたいことにも取り組めれば、できないこと、苦手なことにも取り組んでいけるのではないと思う。

- 学校が楽しい子が8割、あとの2割の子はどこの学年？
→どの学年にも何人かいる。
- こども園から入学した子が4年生になった。あいさつができるや自己肯定感が高まっていることを知ってうれしく思う。

イ 令和4年度南小学校運営協議会の取組について

(ア)前期(4月～9月)の取組について(古西教諭(CS担当))

(イ)今後の地域学校協働活動について(課題提示) (校長)

資料とパワーポイントで説明

(課題)

「周知不足」「保護者への参加促進のあり方」「推進役(コーディネーター役)の新たな担い手づくり」「拠点づくり」「活動資金」

- 学校運営協議会や地域学校協働活動 漢字ばかりで親しみが持ちにくい。学校と地域の漢字が並ぶ。
- 自分は関わっているから知っているが他の親は知らない。
- 例えば、運動会で一心貫とのつながりもなぜもっと紹介しないのかと思った。子どもたちを教えてくれた中学生も演技を見て泣いていた。そうしたよい取り組みをもっとPRできればいいと思う。
- 報告にあったいろんな協働活動のことを親はほとんど知らない。
- 掃除や奉仕作業を地域のみでしている。かつては親(PTA)がしていた。
- 地域学校協働と聞くと親やPTAは入っていないと思う。
- 子どもと触れ合えない、関われない草引きや外作業には魅力がない。もっと子どもの活動を見たいし、関わりたいと思っている親もいる。
- 学校の教育活動に関わることで、先生の大変さもわかる。大人がもっと関われば授業が進むのではと思う。ただ、先生方にとってそれが負担にならないかという心配もある。
例えば、給食の配膳支援や社会見学の補助などは子どもにも関わって先生のサポートもできると思う。6年生で行く水平社博物館見学も親が一緒に行ければいいのと思う。
- 学校の教育活動で親が子に関わることで学校運営意識が生まれる。
- 「しなければならぬ」はしんどい。
- かつては、学年活動や学年で懇親会があり連帯感があった。参加している人が楽しみながらすることが大事だと思う。
- 学校、家庭、地域それぞれが「関われる余地」を作りだしていくことが大事だと思う。

ウ 連絡事項

- ・協働活動ボランティア（ぬぬぎ まなびすと）の募集（校長）
まずは保護者に呼びかけ、学校教育活動に関わり子どもとふれあう機会を作っていく。
- ・コミスクオフ会の実施（松本推進員）
- ・音楽会への参画（打田会長）
- ・次回の予告（次年度へ向けて）（校長）
今後検討「学校を活用した大人の学びあいの場」
楽器の活用等紹介（西田副主幹）

エ 閉 会（松本推進員）